

事業活動を通じたSDGsへの貢献

当社は創業以来、「豊田綱領」(社是)のもと、世の中のお役に立つことを基本に、広く事業を行ってきました。

昨今の環境変化を踏まえ、現在当社が取り組むべき社会課題をCSR重要課題(マテリアリティ)として明確に定義し、

その解決に向け、実行していきます。



CSR重要課題の策定プロセス

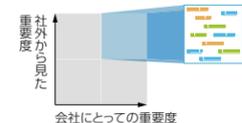


SDGsの17のゴール、169のターゲットなどに基づき、さまざまな社会課題のなかから、当社の事業活動に関連するものを洗い出し

- 【参考にした項目】
- ① SDGs(17ゴール、169ターゲット)
 - ② ESGの重要項目

社内外の目線で重要度を評価し、評価の高いものを絞り込み

- 【評価方法】
- ① アンケートの実施、社内関係部門との議論
 - ② 2軸でプロットし、重要度の高いものを絞り込み



当社経営層のみならず、社外の有識者によるレビューを実施し、その意見に基づき、妥当性を確認

妥当性の検証結果も踏まえ、社長を委員長とし、当社の経営層が会するCSR委員会にて承認

CSR重要課題(マテリアリティ)	2030年ビジョン(めざす姿)への貢献	取り組み方針	取り組み目標と活動	目標値 (達成年度)	2020年度実績	掲載ページ	2021年度目標	
●地球温暖化防止 ●循環型社会への貢献 貢献するSDGs 	クリーン・ゼロエミッション: 事業活動でのCO ₂ 排出や廃棄物の削減、環境配慮型製品の提供拡大などを通じた地球温暖化の防止と循環型社会を実現し、将来にわたって住みよい地球環境の維持・向上へ貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●生産活動におけるCO₂排出量削減 ●生産物流におけるCO₂排出量削減 ●製品技術開発によるCO₂排出量削減 ●生産活動における資源の有効活用 ●資源を有効に利用するため、3R設計(リデュース、リユース、リサイクル)への取り組み 	●生産CO ₂ 排出量の削減 総排出量	▲25%* (2013年度比) (2025)	▲28%	P66-67	—	
			●再生可能エネルギーの導入 導入率	15% (2025)	6%	P66-67	—	
			●物流CO ₂ 排出量の削減 排出量原単位(単独)	▲11% (2013年度比) (2025)	▲8%	P66-67	—	
			●エネルギー効率のさらなる向上に寄与する技術開発	—	—	P66-67	—	
			●廃棄物排出量削減 排出量原単位(単独)	▲12% (2013年度比) (2025)	▲22%	P67-68	—	
			●各国/各地域の水環境事情を考慮した水保全活動の推進	—	—	P68	—	
●新たな価値の創出 貢献するSDGs 	新たな価値の創出、スマート: 新たな価値を創出する技術革新やイノベーションで社会課題を解決し、スマート社会とより豊かな生活の実現へ貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな価値を創出する新技術の開発促進 ●コア技術の伸長とともに、パートナーの新たな知見獲得による既存ビジネスの周辺領域への拡大、新事業領域での技術・商品を開発・提供 	●電動化・自動化の研究開発費比率	70%以上 (2030)	57.6%	—	60%超	
			●周辺領域や新事業領域の拡大 売上額	1兆円超 (2030)	—	—	—	
			●新たな物流自動化技術・商品の開発と販売拡大(産業車両事業) 自動化商品売上(伸び率)	倍増(100%) (2020年度比) (2030)	—	—	10%増	
●安全・安心、快適な商品・サービスの提供 ●地域社会への貢献と共生 貢献するSDGs 	安全・安心、快適: お客様をはじめ、さまざまなステークホルダーのニーズを先取り、安全に安心して快適に利用いただける商品やサービスを提供するとともに、社会の一員としての務めを果たし、ともに発展することで、温かい社会づくりへ貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●高機能で環境にやさしく、社会インフラにも活用可能な電動化関連商品・サービスの拡大 ●高品質で安全な商品・サービスの提供と、そのための体制の維持向上 ●社会の一員として、地域に根差し、ともに発展できる活動の継続的な推進 	●電動化関連商品の販売拡大(全事業) 売上高に占める電動化関連商品の比率	70%以上 (2030)	43%	—	45%	
			●静粛性・快適性に優れた高効率で省電力な電動コンプレッサの提供(自動車事業)	—	—	P35-36	—	
			●クリーンで高品質な燃料電池ユニットおよび車載電池の提供(自動車事業・産業車両事業)	—	—	—	—	
			●災害時など社会インフラにも活用可能な、車載を含めた電源関連商品の提供(自動車事業)	—	—	—	P37	—
			●製品リスクアセスメント実施(対象製品) 実施率(単独)	100% (2030)	100%	P48-49	100%	
			●品質教育の推進 対象者の研修受講率(単独)	100% (2030)	100%	P49	100%	
●安全・健康な職場 ●多様な人材の活躍 ●持続可能な調達 ●コンプライアンスとリスク管理	—	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが安全・健康で働ける職場づくり ●誰もが機会均等に持てる力を伸ばし、発揮できる環境づくり ●社会から信用・信頼され、必要とされる存在であり続けるための基盤確立 	●重大災害の撲滅 重大災害件数	0件 (2030)	2件	P56	0件	
			●休業災害度数率(単独)	0.00 (2030)	0.09	P56	0.00	
			●多様な人材の活用 女性管理職比率(単独)	3.6% (2030)	1.6%	P53-54	—	
			●障がい者雇用率(単独)	2.30%超 (2030)	2.40%	P54	2.30%超	
			●サプライチェーン全体の健全な取引維持と体制強化 対象サプライヤーへのCSRチェック実施率(単独)	100% (2030)	100%(955社)	P50	100%(950社)	
			●重大コンプライアンス違反の撲滅 違反件数	0件 (2030)	0件	P43	0件	
●リスクベースでの適正なリスク管理活動の推進 BCPの実効性向上 サイバーセキュリティリスク対応 重大インシデント件数	—	—	●サイバーセキュリティリスク対応 重大インシデント件数	0件 (2030)	0件	P45	0件	
			●その他の地域貢献活動推進	—	—	P58-59	—	

* : 挑戦目標として、2030年度に2013年度比▲50%。